

ひめだ高宏ニュース

NO.1118

16.9.6

日本共産党
市会議員団

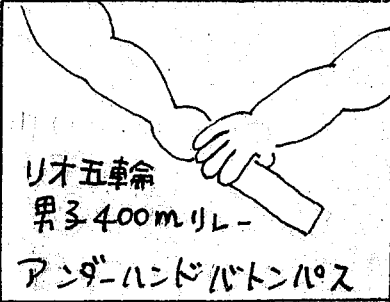
5人全員が一般質問

市議会に5人全員が一般質問をした。5人全員が一般質問をした。市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。

大学構想など質問、2日の編

私、ひめだの一般質問は、①大学構想、②入居プロジェクト、③環境問題についてです。①大学構想については、先週9月全体的に市議会が、市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。市議会の議事は、市議会議員が一般質問をした。

致にやむを得ずなかの賑わい創出についての考え方に、聞いて聞きたいと思っています。②入居プロジェクトについては、同様この間開かれた長期総合計画に関する特別委員会の審議で生まれた疑問、人口減少に歯止めをかけるには、人口減少を抑制する必要があるのか、その対策は何かを聞きたいと思っています。環境問題については、ゴミの減量化をめざして、一般ゴミ、資源ごみ、小型家電のリサイクル状況について、また、資源ごみの集団回収の状況、プラスチック容器包装の一般ゴミとして回収することの効果などについて聞きます。



フリーの人々
リオ五輪
男子400mリレー
アンダーハンドバトンパス
五輪の
リレーは銀で
良かったけど...
台風2号は
低気圧帯に
変わりましたが
沖縄付近...
台風の
リレーは
かなかんた...



ひめだ高宏

近畿3府県
NPOアワード
地域の子ども
たちを支える
地域で支える
ための
ボランティア
養成研修
9月25日(日)
13:30~16:30
近畿コミュニティ
センター
(木川路192-3)
申し込み加付です。
x-ll
cohuse073@gmail.com
7000ス
452-7710
名前、生年月日、年齢を記入の上
お送りください。生活支援
ネットワーク ニ。はうす

今週のフリーの人々 (その64)

次から次へと台風が... 昔のことは覚えていない、最近のことを覚えていない、と想うことが多くなってきた気がします。順調に年を取っている証だと思えます。去年の8月に台風がとうだったのが覚えていませんが、今年はずいぶんニュースで東北や北海道の洪水被害にあつた方たちが、50年住んでいてこんなひどい雨は初めて、と云うのを何回も聞きました。

大成功の100名発表セミナー

9月4日(日)午後3時から東長町の七曲市場が開かれた「台湾夜市」に参加した中村あさこ議員の話によると、歩けないうつりの賑わいだったとか。

私、ひめたは、中村議員、松坂みち子議員と5日の午前10時に市民会館で開かれた「青妙さんの講演会」新しい台湾を発見しよう、台湾と台東」を聞きさせてもらいま

した。一着という姓は石川

ロニセンへ学習室の月々も継続

市教育委員会・生涯学習課より。静かな環境で生涯学習や学校の勉強を集中して行いたい人のために、夏休み・各ロニセンニティセンターに学習室(学習スペース)を設置しましたが、利用者から継続の要望が多く寄せられたので9月1日以

県の名前にもある日本名だといふ話にロニセン・台湾もいっしょに学びたいです。

降も継続して設置します。

開設時間は入水替え制で①10時～13時、②13時半～17時、③17時半～20時で、原則、小学生以下は17時まで利用となります。

中央ロニセンは月曜休館、それ以外のロニセンは金曜休館です。

日本共産党



野党共闘の議論は

日本共産党の小池見書記者会見(10日、国会内で記者会見)・民進党代表野党共闘をめぐる議論について、野党共闘の議論は、これ、日本共産党は、

野党共闘に安保条約や自衛隊に対する共産党独自の政策は持ち込まないこと繰り返して表明している。大倉制に

野党共闘に安保条約や自衛隊に対する共産党独自の政策は持ち込まないこと繰り返して表明している。大倉制に

潮流

新学期が来て、学校に行けない。最近、ユニセフは初等教育の未就学率が高い上

家で経済的に苦しく、進学を断念せざるを得ない女子高生が紹介されましたが、

食困により、学ぶ権利を奪われていく子どもたち。飢えに苦しみ、命さえ保障されない子どもも少なくありません。とうとう人間らしく生きられない極度の食困。それは「絶対的食困」と呼ばれます▼食困といえは、こうした途上国の極限状態をイメージする人は多い。しかし経済的理由で食費が制限される、病院にも行けない、進学もできない。その社会の「普通の生活」がでない。それが「相対的食困」の人たちです▼子ども食困問題をとり上げたNHKのニュース番組が波紋を広げています。母子家

たきにも通じます▼日本では普通の生活水準の半分以下で暮らす家庭の子どもの割合は6人に1人。生活のさまたげが困難な食困を抱える若者たちは「食困世代」と。それをまたらしているものは。片山氏の発言は皮肉にもたまたかの予兆を示しています。

赤旗 日刊紙 3,497円/月